

切実な市民の声を届け、市政を動かす ②

市の仕事をしても給料が出ない……



06年秋、共産党市議団の鈴木礼子幹事長に一通の手紙が届きました。「測量会社の社員です。市の仕事への入札でありにも低い価格で契約し、仕事しても赤字と給付金ない……」というものでした。

調査したところ、測量・設計などの建設関連業務委託契約で、「予定価格の10〜30%台」という入札での契約が続いていました。

その年の12月議会で庄子議員が一般質問で取り上げ、「最低制限価格制度」（一定額以下の入札の場合は失格とする制度）を業務委託契約でも取り入れるべき」と提案。

08年度から建設関連業務委託契約に最低制限価格制度が導入されました。

「仕事が忙しくて児童扶養手当の申請できない……」

今年の11月、父子家庭の方から「仕事が忙しく、市役所に行って児童扶養手当の申請することができない」という相談がありました。

8月から父子家庭も該当になった児童扶養手当。8月にさかのぼって受給でき

民事再生中のA社から電話で市から差し押さえを受けて困っている……

今年の秋、市議会の党議員控室にせび相談に乗ってほしいと電話が入りました。全く面識のないA社からでした。

A社は民事再生中で相談にはスポンサー会社のB社（東京）と2人が来ました。

「市税の滞納があり市から財産を差し押さえられている。このままでは再生できない」

「共産党市議団のHPで盛岡市に滞納処分執行停止要綱があるのを知って相談にきた」とのことでした。

「経過措置」の申請期間が11月中と迫っている中、申請は市が見込んだ対象者の半数以下の106人でした。

党市議団は、市に「時間外の窓口を設置し、マスコミを通じてお知らせを」と申し入れました。市は、28〜30日の3日間、時間外の窓口を開設。

57人から相談があり24人が申請しました。

市の滞納処分執行停止要綱は「その生活を著しく窮乏させるおそれがある場合」などに滞納処分差し押さえの執行を停止する基準を定めたものです。

5年前、「郵便貯金の最後の13万円を全部差し押えられて家賃も払えない。困った」という相談を受け、庄子議員が市に基準を定めるよう提案。07年12月に「要綱」が策定されました。

A社は「直接この要綱の適用にはなりませんでしたが、分納することで再生を図る」とになりました。

後援会ニュース 部内資料
まめだすか

2011年1月1日第87号

日本共産党庄子春治地域後援会
盛岡市三本柳23-9-6
発行責任者 八重樫弘司
TEL614-0140 FAX614-0141

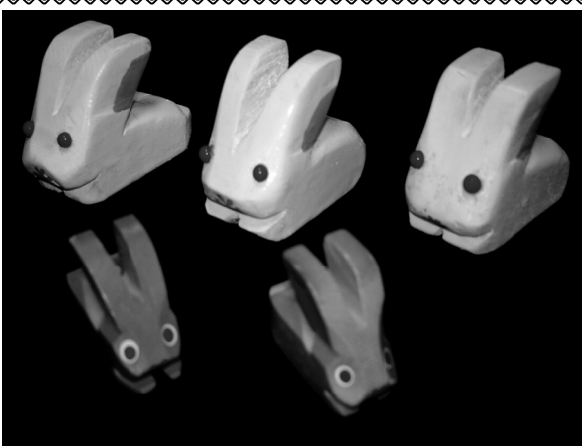
本格的に選挙準備へ！
斉藤信・庄子春治事務所開き

あよび新春のつどい

- 日時：2011年1月16日（日）11:00～
- 場所：見前ニュータウン集会所
- 会費：1500円

～「まめだすか」読者の皆さんぜひおいでください～

日本共産党庄子春治地域後援会



今月の1枚 木彫り「うさぎ」 三本柳 熊谷栄三

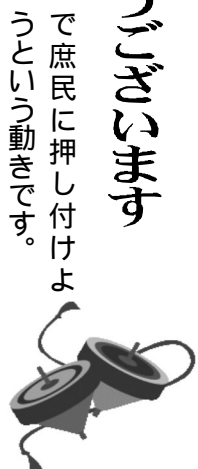
いつせい地方選挙の年
明けましておめでとうございます

昨年は、民主党政権への期待が裏切られ、怒りにさえ変わってしまった一年でした。

「生活第一」はどこへ行ってしまったのでしょうか。

廃止すると言っていた後期高齢者医療制度は存続し、国内経済重視と言っていたのに、潤ってきたのは輸出大企業だけ。無駄な公共事業を復活させ、沖縄に基地を押し付ける……自民党帰ります。

挙句の果てには、財政が厳しいと言いつつ力のある大企業には減税し、後の始末は消費税の増税



で庶民に押し付けようという動きです。暮らして先行きが見えない状況で迎えたうさぎ年。四月の一斉地方選挙で希望を見出しましょう。

頼りになる斉藤信・庄子春治市議も「うさぎ年」の年男です。必勝のため、「まめだすか」読者の皆さんの応援を得ながら全力を尽くす覚悟です。今年もよろしくお祈り致します。

日本共産党庄子春治地域後援会
会長 八重樫弘司

お手伝い・ボランティアのお願い

選挙は、大変人手がいります。皆さんのご協力をいただきたく、ボランティアでのご協力を呼びかけています。お知り合い・友人をご紹介下さい。「まめだすか」の発送作業、地域配布へのご協力。チラシあり・配布、炊き出しの炊事など。事務所にお電話下さい。



「生け花」 東見前 水野佐和子

読者の作品



ちぎり絵「干支（うさぎ）」 三本柳 白子孝子



「絵手紙」 津志田 藤沢和子

「囲碁・将棋」やっています

好きな方きてください
1月14日（第2、金）13:30～17:00
見前ニュータウン集会所にて

掲示板

築川で、とても美しい源氏ほたるを見ました。清流の流れる自然豊かな土地をダムにして埋めてしまふのは、本当に納得できません。ダムを造らない別の方法で治水できるのに、どうしても、ダム計画を推進しなければならぬものなのでしょうか。私たちは、自然を創造することなどとてもできないのですから、自然に敬意を払うべきだと思います。築川ダムの建設は中止してください。田村伸子（これは、県が築川ダム建設事業についての意見公募に対し、意見を出したものです。）
「波乱万丈、村井良三の半生」は、体調を崩したため休みます。
「うたごえ喫茶」、1月は休みます。

「ホントにお酒は百薬の長」

お酒は「百薬の長」といわれ、家族や仲間と酌み交わすことで気分も盛り上がり、生活文化を豊かにしてくれます。しかし、一方ではアルコール依存症など悲惨な事態も招くこともあります。WHOでは「アルコールの害を低減する世界戦略（草案）」を採択し、アルコールの分解物・アセトアルデヒドを発ガン物質として認定しました。発ガンのリスク以上に怖いのは、脳の機能が侵されていくことです。



お酒は上手に飲みましょう

最近、女性の飲酒量も増え、妊娠・授乳中の飲酒による赤ちゃんへの健康被害も問題になっていきます。女性ホルモンはアルコールの分解を妨げるため、女性には男性より少量のアルコールで酔いやすく、肝硬変にも早くなります。お酒は、米が原料の日本酒の他、気候風土や食文化にあわせて、ぶどう酒、バナナ酒など多種多様です。いずれも成分はエタノール（エチルアルコール）という薬物です。そもそも「酔う」とは、脳がアルコールでマヒする事です。大量のお酒を飲むと脳の機能が落ち、アルコールが切れると回復します。これを繰り返しているうちに機能が回復せず、脳細胞が減少して形態的にも脳が縮んで小さくなってしまいます。年末年始はお酒を飲む機会も多いでしょうが、「百薬の長」とは言え、上手に楽しみたいたいです。（川久保病院小児科医師）